

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	くすの木苑
住 所	福岡県みやま市高田町下楠田2195番地1
電話番号	0944-22-2535

事業所番号	4014500070
管理者名	小島 弘己
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		55点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		5点
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		5点
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	3	点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		5点
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	3	点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
145点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（ 6 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	1054.25	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,340	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.5	時間
-----------------------------	---------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間（ 4 月～ 3 月）

前々々年度（ 4 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	8,898,529	円	利用者に支払った賃金総額	7,924,392	円	収支	924,137	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	---------	---

前々年度（ 5 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	9,185,454	円	利用者に支払った賃金総額	9,167,497	円	収支	17,957	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

前年度（ 6 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	11,246,992	円	利用者に支払った賃金総額	10,213,715	円	収支	1,033,277	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（6年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☐
------------------------------	--------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☐
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（6年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	虐待防止・人権擁護研修
研修講師	古庄和秀氏
実施日・受講者数	3月19日 2人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☐
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	ワークカレッジ(株)ハンズオン熊本
実施日/参加者数	12月5日 2人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☐
※商談会等名	
主催者名	
日時	月 日
内容	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	H23年7月1日
人事評価制度の対象職員数	2名
うち昇給・昇格を行った者	2名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	くすの木苑	事業所番号	1014500070
住 所	福岡県みやま市高田町下楠田2195番地1	管理者名	小島 弘己
電話番号	0944-22-2535	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> くすの木苑 令和6年4月1日～令和7年3月31日 みやま市在宅支援寝具洗濯サービス事業 利用者数 9名	<活動の様子>   
<目的> ・障がいのある方への就労の場の創出 ・高齢者及び障害者等、外出することが困難な方に対し、寝具類の集配クリーニングのサービスを提供する事業を行う ・高齢者等の感染等の防止、衛生面の維持・向上	
<成果> ・助成対象の寝具だけではなく、衣類等のクリーニングを依頼して頂き事業収入の増加につながっている。 ・依頼者の寝具等を利用者が覚えており、「また今年も出していただけた」との思いから、利用者のモチベーション向上に寄与している。 ・依頼者から新たな顧客を紹介して頂くこと等があり、地域との連携をさらに強化することが出来た。	

連携先の企業等の意見または評価

・自身では持ち運べないため、回収・配達までしてもらえるのが助かっています。 ・失禁等があり、清潔を保つのに苦労しているので、非常に助かっています。 ・日頃より、市の福祉サービスにご尽力いただいております、本事業についても円滑に業務を遂行していただき大変助かっております。			
連携先企業名	みやま市介護支援課	担当者名	高齢者支援係 田中様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	くすの木苑	事業所番号	1014500070
住 所	福岡県みやま市高田町下楠田2195番地1	管理者名	小島 弘己
電話番号	0944-22-2535	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

- ・活動場所：くすの木苑 食堂にて
- ・実施日程：令和6年10月9.10日 15時30分～ 計2時間
- ・実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の内容
：クリーニング業務従事者講習
- ・利用者数：職員3名及び利用者9名 計12名

<活動の様子>



<目的>

利用者のクリーニング業務に対する知識・スキルの向上とともに、就業意識の改革等を目的とする。
同時に、クリーニング業法に基づく法定講習である本講習の受講により労働意欲を増進させる狙いもある。その他、責任感や安全意識を発展させる等、目的は多岐にわたる。



<成果>

普段行っていたクリーニング業務について、テキストを用いて学んだことにより、利用者各人が興味を抱いた様子で、講習後にもテキストの内容について質問に来る、休憩中に話題にする等、興味を抱いた様子であった。また、修了証書の受領に喜ぶ姿も見られた。
課題点として、関係法規等は難解な部分が多く、理解が進まない状況であった。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

今回、事業所の全員が、クリーニング業法に基づくクリーニング業務者講習を修了されたことで、専門知識及びスキルの向上、安全作業・衛生意識の発達に繋がられたのではないかと考えています。
今後もテキストを用いた講習を行うことで、さらに技術・知識が向上されるのではないかと思います。

連携先企業（担当者）

（公財）福岡県生活衛生営業指導センター（澤田様）

利用者からの意見・評価

- ・クリーニング作業に興味が出てきた
- ・洗剤等の危険性が理解できた
- ・修了証書をもらえたのがうれしかった
- ・家での洗濯の時、生地に合った洗いが出来るようになった
- ・今まで考えずに行ってきた作業の意味が理解出来るようになった
- ・衛生についての意識が高まった
- ・環境問題について考えるようになった
- ・法律については少し難しかった